

【美林見学会開催概要】

開催日

2023年11月8日（水）～11月9日（木）／1泊2日

見学会エリア（2カ所）

- ① 奥羽山脈・鍋越峠（宮城・山形県境）周辺
一度伐採された（1913年前後）ブナの森が110年程を経て見事な二次林となっています。
- ① 気仙沼・矢越山（宮城・岩手県境）周辺
1965～1975年代の海の環境悪化を機に「森は海の恋人」の合言葉をかけて、気仙沼のカキ漁師・畠山重篤さんたちが植林運動を始めた植林地の現場を見学します。

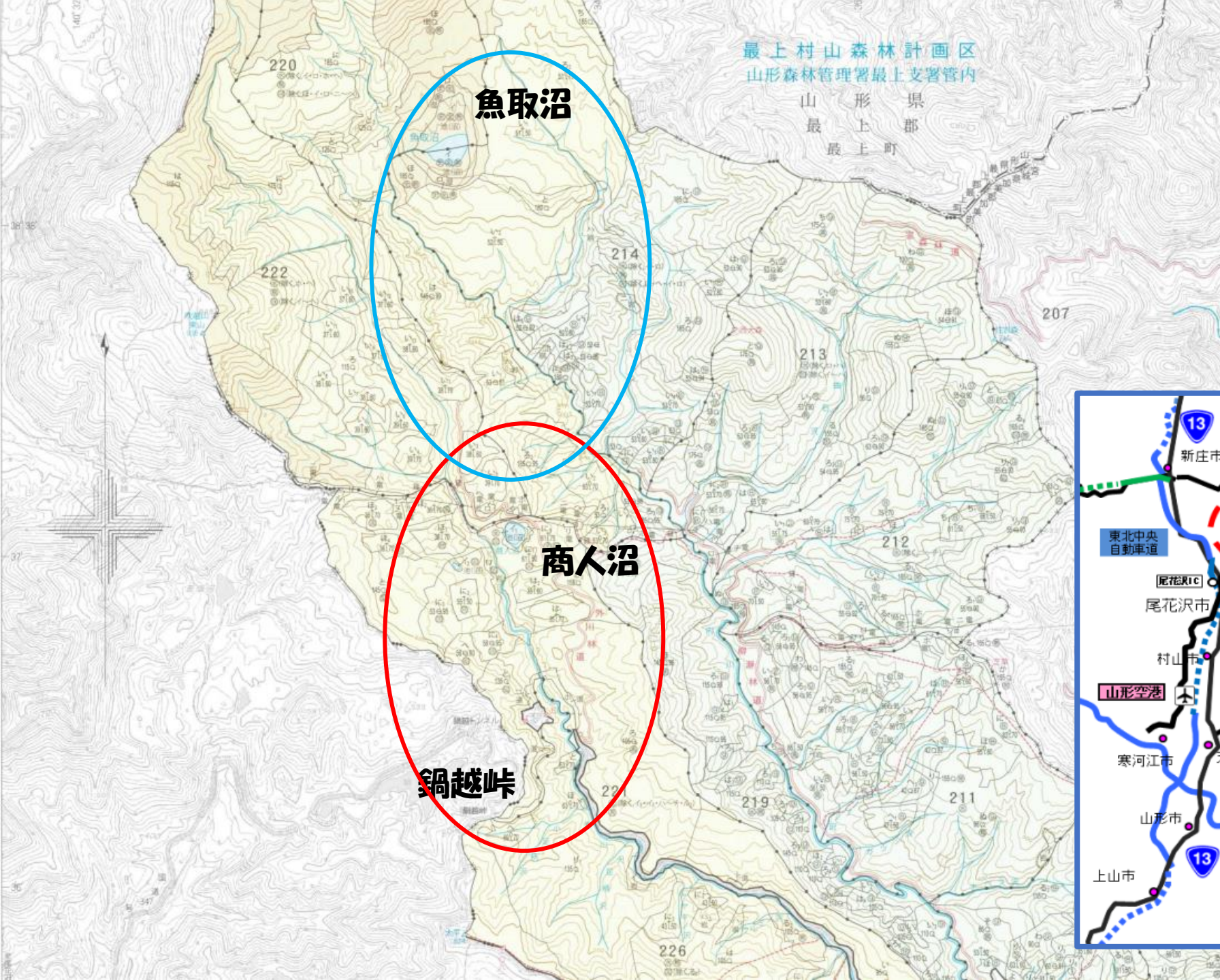


費用（参加者数の確定前後で再検討します）

・東北新幹線（東京～古川）／古川にてレンタカー予約、分乗して現地移動

・宿泊費約8千円、雑費2千円
《現地までの交通費、入場料、保険、昼食、飲酒等は個人負担》

※移動は登山を除き車です。
※往路の交通機関を含めた行動時刻は、10月初旬までに決定します。



最上村山森林計画区
山形森林管理署最上支署管内
山形県
最上郡
最上町

魚取沼

商人沼

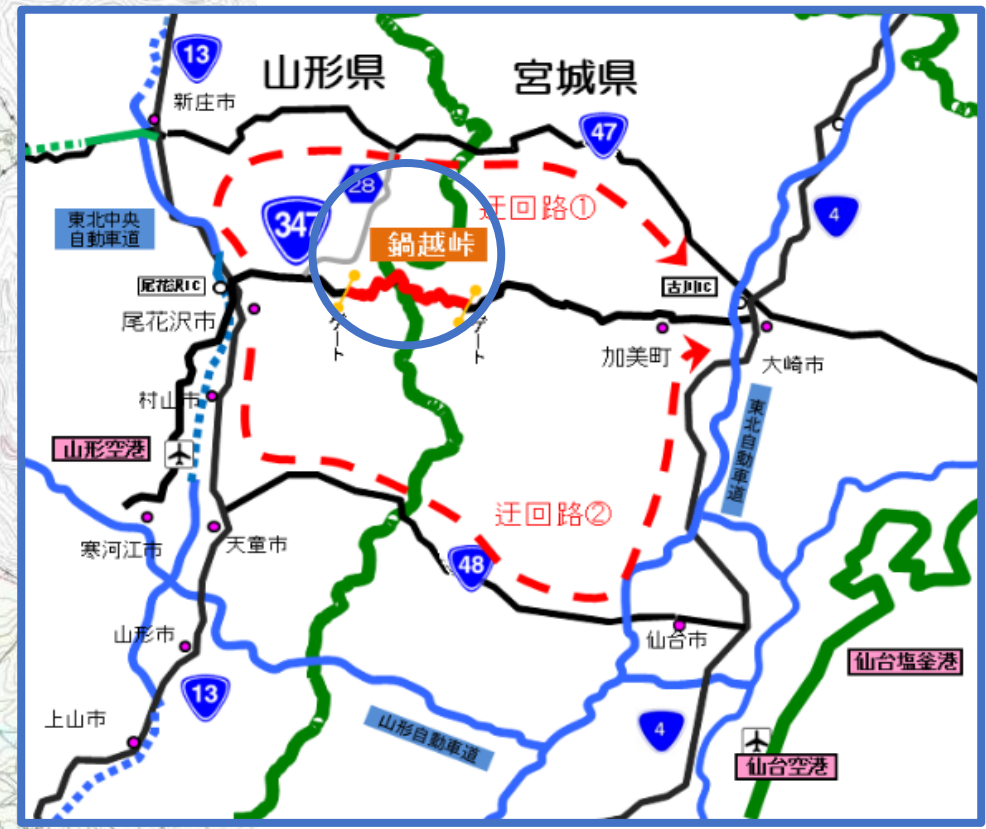
鍋越峠

《入林届》

宮城北部森林管理署に
提出済です

入林場所

入林の主なエリアは、添付地図の
鍋越峠～商人沼です。
森林管理署の同行が無理となり、「船
形山のブナを守る会」（1985年4月に
発足）会員の同行で入林許可済



山形県 宮城県
新庄市 尾花沢市 村山市 寒河江市 山形市 上市市
加美町 大崎市 仙台市
東北中央自動車道 山形自動車道 東北自動車道
山形空港 仙台空港
迂回路① 迂回路②
鍋越峠

鍋越峠付近 (参考)



国道347号線、鍋越トンネル入り口から1Km ほど手前(宮城側)にとっても美しいブナの二次林が広がっているところがある。

ブナの二次林はいろんなところにあるけれど、大正時代に伐採された記録が正確に残っている場所は少ない。

この森が一度伐採されたのが大正2年(1913年)のこと。

ということは、このブナの年齢は110歳ですね。奥羽枝街道として大崎地方からの出羽三山に参詣する人でにぎわったらしいです。

美しいブナ二次林を抜けた先には美しい沼が待っている。
商人沼(あきんど沼)



逆方向へ進むと山形県側に宝栄牧場を望むことができる。

北海道とか絵画で見た英吉利の牧草地帯峠を下ると青い目の女将のCMで一躍全国的に有名になった銀山温泉があります。



三陸復興国立公園

気仙沼・矢越山



【交通のご案内】

気仙沼市街から県道 26 号を車で 30 分。
バスは、気仙沼市役所前から御崎（おさき）
行き乗車、「宿（しゆく）」下車（乗車時間
約 30 分）、その後は徒歩かタクシー（残り
約 3Km）。

11月9日の訪問・見学について
NPO法人「森は海の恋人」
事務局・白幡美晴氏と確認済
（ただし、カキ養殖作業の繁忙期
であり、同行は難しい）

宮城北部森林計画区
宮城北部森林管理署
第5次国有林野施業実施計画図

面積 70,360.88ha

12片の内第6片

注 林野番号の下の記号は、その林野の全小班に共通する。

